

# 目 次

## 2010年度事業関係

### 1. 事業内容報告

- 【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業 ..... 6
- 【2】コーディネート事業・相談活動・  
ボランティア支援・当事者支援活動 ..... 15
- 【3】教育・啓発活動 ..... 18
- 【4】コミュニティ・メディアにかかる活動 ..... 20
- 【5】国際的な草の根の交流を行う事業 ..... 20
- 【6】リサイクルバザー事業 ..... 20

### 2. 組織と運営 ..... 21

## 2011年度事業計画 ..... 24

## 2010年度決算および2011年度予算 ..... 30

## 会 員 関 係 ..... 35

\* 2011年度理事監事名簿

\* 2011年度ボランティアグループ運営委員名簿

\* 会員名簿

## 寝屋川市民たすけあいの会会則 ..... 38

## 特定非営利活動法人

### 寝屋川市民たすけあいの会 ..... 41

## 寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ ..... 52

## 寝屋川市民たすけあいの会

### 2010年度事業内容報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2010年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2010年度は、2年前の寝屋川市民たすけあいの会発足30周年をふまえて、現在のたすけあいの会の組織や事業のさまざまな課題が明らかになり、時代にあわないもの、現状にあわないものを休止したり、形を変えたりをしている。会の活動自体は再考期に入り、昨年度より組織変更の準備と事業活動などの見直しなどをはじめている。

2010年度は多くの民間の助成金事業をいただき、

- ・ぼちぼちはうすの増改築
- ・障害者の暮らしを考える研究事業
- それにともない、居住サポート事業
- ・若年（性）認知症についての事業活動

など、新しい事業活動に取り組んでいる。

事業・活動規模が大きくなっていることもあり、外部理事・監事の仕組みなど運営組織の再構築を議論し、取り組み始めている。

以下は「たすけあいの会」が2010年度に行った事業の内容である。

# 事業内容

## 【1】事業活動

### 【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業

#### A ボランティア活動

(1) 在宅ボランティア派遣活動・・・活動なし。依頼はあるがボランティア・コーディネートを休んでいることと、ボランティアがいないので、お断りしている。支援センターのケースとして、在宅ボランティア活動と類似した活動を行っている。

#### (2) 交流活動・サロン活動・つどい活動

##### ① 外出交流会

1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画し、年に2度ほど外出している。2011年度は6月5日に山田池公園へ水生花園に外出。17名が参加。

##### ② たすけあいサロン（ミニデイサービス）

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度（第1土曜日）にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス（たすけあいサロン）を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。毎回6～11名程度の比較的年齢の高い方、中途障害、難病の方がが集まっておしゃべりに花をさかせている。

4月	3日（土）	9名	
5月	1日（土）	10名	
6月	5日（土）	17名	
7月	3日（土）	6名	
8月	7日（土）	8名	
10月	2日（土）	9名	
11月	6日（土）	7名	
12月	4日（土）	8名	
1月	30日（土）	14名	新年会
3月	5日（土）	9名	

総計 のべ97名

### ③ 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

1998年に寝屋川市で開催した失語症ライブの同窓会を元に、言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」が結成された。2001年11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度（第3土曜日）にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生（大阪医専）のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。現在の登録メンバーは8名。ここ2年ほどはメンバーの入れ替わりが激しくなっている。

4月17日（土）	参加者3名	家族 名	ボランティア 5名
5月15日（土）	参加者4名	家族2名	ボランティア11名
6月19日（土）	参加者5名	家族2名	ボランティア 9名
7月17日（土）	参加者5名	家族1名	ボランティア 9名
8月21日（土）	参加者4名	家族 名	ボランティア 7名
9月18日（土）	参加者3名	家族 名	ボランティア 9名
10月16日（土）	参加者3名	家族 名	ボランティア 9名
11月20日（土）	参加者5名	家族 名	ボランティア 4名
12月18日（土）	参加者3名	家族1名	ボランティア 5名
1月15日（土）	参加者1名	家族1名	ボランティア 6名
2月19日（土）	参加者4名	家族1名	ボランティア 5名
3月19日（土）	参加者3名	家族1名	ボランティア 7名
総計	のべ参加者43名	家族 9名	ボランティア86名

### (3) 福祉施設などへの訪問ボランティア活動

#### ① 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

1987年より毎月1回（第3火曜日）、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。参加ボランティア3～5名。活動内容は古着の裁断やガーゼ折りなど。

	日	時	活 動 内 容	参加数
1	4月20日	10時～12時	ガーゼ（大・中）折。	4名
2	5月18日	10時～12時	ガーゼ（大・小）折。	2名
3	6月15日	10時～12時	ガーゼ（大・中）折。古着の裁断。 メモ作り。	4名
4	7月20日	10時～12時	ガーゼ（中・小）折。箱作り。	3名
5	9月21日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。	4名
6	10月19日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。メモ作り。	4名
7	11月16日	10時～12時	ガーゼ（大）折。メモ作り。	4名
8	1月18日	10時～12時	ガーゼ（大・中・小）折。	4名
9	2月15日	10時～12時	メモ用紙作り。古着の裁断。	5名
10	3月15日	10時～12時	ガーゼ折。古着の裁断。	5名

② ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞していたが今年度は、数年前に活動をしていただいていた方が活動を再開していただき、活動自体が再会した。

6月25日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：2名
7月9日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
7月23日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
8月6日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
8月27日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
9月10日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
9月12日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
9月24日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
11月12日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
12月10日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
12月24日（金）	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名

1月 7日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
1月14日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
1月21日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
1月28日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
2月 4日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
2月18日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
2月25日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
3月 4日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
3月11日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
3月18日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
3月25日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名

総計 のべ日数22日 ボランティア23名

③ デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。今年度の活動はなし。

④ 寝屋川保健所主催行事への協力

☆神経系難病者交流会「ひまわり会」への参加

月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催の「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた。

⑤ シニアサポートセンターめぐみの第三者委員に任命されている。

(4) 子どもたちと遊ぶ活動

① そろどみ (SOL DE DOMINGO) の開催

障害のある子もない子も、地域の小学生とボランティアと一緒に遊ぶ活動。2010年度の登録メンバーは4名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。(1月のみ、第2日曜日に変更して開催。) 特別プログラムとして、遠足や夏の日帰りキャンプも実施した。毎回、学生や社会

人がボランティアとして参加している。

4月	4日(日)	メンバー4名	ボランティア	7名
5月	2日(日)	メンバー3名	ボランティア	9名
6月	6日(日)	メンバー2名	ボランティア	7名
7月	4日(日)	メンバー4名	ボランティア	10名
8月	1日(日)	メンバー4名	ボランティア	13名
9月	5日(日)	メンバー3名	ボランティア	6名
10月	3日(日)	メンバー2名	ボランティア	8名
11月	7日(日)	メンバー4名	ボランティア	6名
12月	5日(日)	メンバー4名	ボランティア	7名
1月	9日(日)	メンバー3名	ボランティア	4名
2月	6日(日)	メンバー4名	ボランティア	8名
3月	6日(日)	メンバー4名	ボランティア	8名

総計 ボランティア のべ93名

★研修：そらどみのボランティア対象の「リーダートレーニング」を2回開催した。

6月19日(土) 参加者7名

2月20日(日) 参加者6名

★研修：そらどみリーダートレーニングを開催

2月11日(木・祝) 参加者 8名



【そらどみ】

② あそび市の開催

市内在住の小学生と保護者を対象に、市立保健福祉センター多目的ホールにて単発の遊びのプログラムを行った。そらどみの活動紹介展示も同時に開催。

11月23日(火・祝) 11:00~16:00 子ども22名(きょうだい参加の未就学児含む)、ボランティア9名が参加した。

③ こもます(?Como mas?)の開催

そらどみを卒業した中学生対象のプログラムとして前年度開催したが、2010年度は休止。

④ びっくりおもちゃ箱の開催

ボランティアと地域の子どもの遊びのプログラム。前年度は夏休み期間に一度開催したが、2010年度は実施せず。

(5) 社会的ひきこもり社会参加支援

① 06・07年度、府が行っていた社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施していた。このモデル事業は府内2カ所で行われ、そのうちの1カ所を委託をうけ実施した。一年半で社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。その後も活動を続けている。

・サロン活動 毎月5~6回程度。

テーマは、お菓子作り、事務局ボラ活動など

② 今年度より、寝屋川保健所主催で社会的ひきこもり者実務者会議が開催されており、それに参加している。

**B 障害者自立支援法に基づく事業**

(1) 社会参加活動センター「ぼちぼちはうす」

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度からは、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして知的障害の方の相互利用を含めて、運用する



ことになった。

その後、2006年度、障害者自立支援法により存続の危機に直面。2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。放送後、117人の方から288万2100円の寄付をいただき、ぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ改装し、「ぼちぼちはうす新館」を開設。障害者自立支援法制度施行後は、2006年度上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営をした。2007年度より、市の委託事業として旧障害者デイサービスの移行種別である「地域活動支援センターⅡ型（定員15名）」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営している。

利用時間は9：50～16：10である。重度障害者等包括支援事業の対象の方が今年度途中から1名増えて5名。地域活動支援センターⅡ型の登録の方が24名（うち、「ゆる・りろ」10名、「風ride(プライド)2名、パラデロ2名、その他2名含」となっている。もともと利用されていた重症心身障害の方、全身性障害の方、知的障害の方に加えて、高次脳機能障害や精神障害の方が増えている。

見学・来訪者は192名、ボランティアはのべ111名であった。

- ・日本郵政の年賀状の助成金により、ぼちぼちはうすの改装とアテリアの増改築を行った。



【ぼちぼちはうす】

② 「ゆと・りろ」(精神障害者ユニット)

精神に障害をもたれた方の日中活動の場として、食事作りや、仲間と集う活動を中心としたプログラム。食事作りでは、メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担している。仲間やボランティアも交えた空間で共に過ごし、一人一人が役割と、自分らしいスタイルが持てる場を目的としている。10年度の登録者数10名。

2010年度ののべ利用者は421人。ボランティアのべ68名。

また、金曜日の午後に運動をテーマにした「徒徒の会」のお試しプログラムも開催した(2/18、3/4、3/18の3回開催)。

開催曜日	第月曜日(PM) 14:00~16:00	火曜日(AM)(PM) 10:00~13:00 14:00~16:00	月・木曜日 10:00~14:00	毎月最終日曜日 13:30~16:00
プログラム名	情報PPP	AM:ランチ皇子 PM:あまみ党の会	ランチ王	ある日曜日の 昼下がり
内 容	パソコンについてみんなで勉強する場。ブログを使って、情報発信をしている。	(AM)栄養バランスの整ったお弁当を注文し、簡単なみそ汁を作って食べる。 (PM)サロンの、座談会的な場でヘルシー&簡単なお菓子をつくりたり、簡単なストレッチなどをして、みんなとゆっくりした時間を過ごす。	献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。 キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	映画鑑賞会。お茶を飲みながら、映像を楽しみ、観終わった後は、参加者同士で感想を語り合うプログラム。

③ 風ride (プライド)

自立生活支援センターづくりをめざして活動をしている。メンバーは2名。2010年度は、自立生活プログラム(初級編)をメンバー2人がリーダーとなり、8月より開催した。また毎月、第3日曜日に「語ろう会」も開催し、隔月で一人暮らしをされている方をお呼びして、講演をしていただい

ている。

西宮・メインストリーム協会の自立生活プログラムに参加をさせていただいた。

④ パラデロ

高次脳機能障害の方を主に対象としたプログラム。リハビリ的な要素を取り入れ、紙すきや古切手を使った画づくり、園芸などの作業、あとは個別プログラムとして、音楽プログラムやパソコンなどをおこなっている。

(2) ヘルパーステーション「ほっと」

① 障害者居宅介護事業

2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた。2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2006年度は、障害者自立支援法による改正があり、現在は、居宅介護（身体、知的、精神、障害児）、重度訪問介護（全身性障害）、行動援護（知的、精神）、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。

2010年度在宅サービス実績（上段／下段は2009年度）

	利用者数	回数	時間
居宅介護	5人 (4人)	470回 (460回)	1538時間 (1476時間)
重度訪問介護	7人 (6人)	436回 (420回)	3822時間 (3312時間)
行動援護	5人 (4人)	349回 (269回)	1622時間 (1185時間)
移動支援	23人 (26人)	349回 (432回)	1898時間 (2222時間)
重度障害者等包括支援事業	6人 (5人)		11686時間 (9663時間)

※ 法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委については、追手門学院大学准教授の古川隆司さんをお願いしている。

## C 介護保険法に基づく事業

実績なし。休止中。

## D 移送サービス事業

10年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティアによる移送を行っていた。

現在は、国のNPO等による移送サービスの制度化が進んだことにともない、2005年度、半ばに運営協議会の結成後、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。しかしながら、積極的に事業を行う姿勢はとっていない。

情報などの収集のために関西STSに参加している。

## E. 居住サポート事業

市からの居住サポート立ち上げ支援事業の補助と平成22年度 社会福祉振興助成事業障害者の住まいの確保サポート事業を核にし、かつ、重度障害者等包括支援事業を活用し、今年度より、「障害のある方の暮らしを支える」取り組みを行った。

## 【2】コーディネート事業・相談活動・ボランティア支援・当事者支援活動

### A・障害者自立支援法に基づく相談活動

#### (1) 寝屋川市障害者相談支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託をうけ、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になった。

総合相談件数／連絡調整件数 1302件

難病者ピアカウンセリング・・・毎日 今年度より、月に一度総合センターに出張相談

視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日

市から依頼され、

聴覚障害者ピアカウンセリング・・・聴覚言語部会の取り組みに補助している。

## (2) 相談支援機能強化事業の委託運営

相談支援機能強化事業の委託を受け、主に、ネットワーク推進員として、寝屋川市障害者地域自立支援協議会の運営に参画している。

精神障害者自立支援促進会議、寝屋川市就業・生活支援センター運営委員会・実務者連絡会、精神障害者実務担当者会議、居宅事業者連絡会、地域活動支援部会立ち上げ支援部会、地域自立支援協議会事務局会議などの会議にも参加している。

## (3) 障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査をうける必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している。

## (4) サービス利用計画策定事業

指定相談支援事業所として、7名の方のサービス利用計画の策定を行っている。一人暮らしの方、高齢の要介護の親御さんと同居の方、退院支援を行った方である。

## (5) 居住サポート立ち上げ支援事業、相談支援充実強化事業

今年度、両事業を単年度事業として、市から委託を受けて行った。

## B 地域ネットワーク活動

### (1) 関係機関会議への出席

#### ① 在宅難病患者地域ケア推進会議

今年度、開催されず。

#### ② 精神障がい者自立支援促進会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討する会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

## (2) ボランティア関係の会議への出席および参画

### ① ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

### ② 大阪ボランティア協会パートナーシップ団体への登録

## (3) 精神障害者支援機関のネットワークへの参画

大阪府が推進している、精神障害者地域交流事業を行っている「Club E&T」（旧ひなたぼっこの会）の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1回定例で運営委員会も行われている。

・Club E&T 運営委員会 開催数：11回 参加数：71名 \*内当事者0人

・ふれあいの会（当事者が中心にイベントを企画する会議）

(ア) 会議 開催数：12回 参加数：82名 \*内当事者70人

(イ) イベント(当事者中心に企画されたイベント)

開催数：4回 参加数：28名 \*内当事者24人

(ウ) チラシ編集会（広報活動。イベント案内やチラシの作成をする会）

開催数：12回 参加数：37名 \*内当事者25人

・こころの健康講演会（タイトル「こころの病をくぐりぬけて」）

講師：森 実恵さん

日時：2月26日 場所：寝屋川市立保健福祉センター 5階多目的室

参加数：60名 \*内当事者30人

・第6回就労のつどい（現在就労している、また就労を希望する方が集い交流をする場）

日時：10月16日 場所：寝屋川市産業振興センター 第1セミナー室

参加数：27名 \*内当事者15名

・春の遠足（兵庫県「花鳥園」）

日時：3月27日 場所：花鳥園

参加数：24名 \*内当事者20名

総計回 のべ273名 (\*うち当事者数196名)

## C ボランティア活動支援事業

### ① ボランティア・サロンの開催

ケース検討会が休止したこともあり、またボランティア同士の交流の機会が減っていることから、ボランティアの活動報告と交流を目的に新しく開始した。

4月, 5月, 6月, 7月, 9月, 10月, 11月, 3月の第4水曜日の  
午後に開催した

## **D 当事者団体支援活動**

### ▶寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

寝屋川難病連絡会第15回総会が10月24日(日)に行われた 15名参加

### ★寝屋川市障害者長期計画策定協議会への当事者委員としての参加

障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

### ★障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

### ▶障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関することを考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

## **【3】教育・啓発活動**

### **A. 若年(性)認知症についての学習・講演会 (大阪府地域福祉基金事業)**

「若年性認知症についての学習・講演会 part 1」

日にち：11月27日(土) 14:00~16:00頃

場 所：保健福祉センター5階 研修室3-1, 2, 3

講 師：若年認知症支援の会 愛都の会(アートの会)

「若年性認知症についての学習・講演会 part 2」

日にち：3月3日(木) 13:30~16:00頃

場 所：保健福祉センター5階 研修室5

講 師：愛都の会(支援者、ご家族の方)

## B. 「障害者の暮らしのサポートを考えるセミナー」(社会福祉振興基金事業)

「障害者の暮らしのサポートを考えるセミナー」

日にち：3月1日(火) 13:00~16:10

場 所：保健福祉センター5階 研修室5

13:00~14:00

講 演「障害者制度の改革と今後～障害のある方の暮らしは今後どうなっていくのか」

竹端 寛さん(山梨学院大学准教授・内閣府障がい者制度改革推進会議総合福祉法部会委員)

14:10~16:10

パネルディスカッション「障害のある方の暮らしを支える」

李国本修慈さん(NPO法人 地域生活を考えよーかい)

加藤 恵さん(愛知県・半田市障がい者相談支援センター施設長)

今井 友乃さん(知多地域成年後見センター事務局長)

コーディネーター 富田昌吾(寝屋川市民たすけあいの会事務局長)

助言者：竹端 寛さん



## C. インプロ・パーク

インプロとは英語のインプロヴィゼーション＝「即興」の略。元々は俳優のトレーニングとして開発された即興劇のプログラムで、わが国でも90年代以降、学校教育、企業研修などいろいろな分野でコミュニケーションワークショップとして応用されている。

東京からファシリテーターの方をお呼びし、2010年度は3回開催した。



5月16日(日)	参加者11名
10月24日(日)	参加者12名
1月23日(日)	参加者10名

#### **D. ワークショップ等の開催**

2010年度は実施なし。

### **【4】コミュニティ・メディアにかかる活動**

#### **A. カフェ放送「てれれ」の上映会の開催**

大阪市にある映像発信「てれれ」という団体が展開している取り組み。様々な視点で作られた、いろんなテーマの10分以内の映像作品を1時間のプログラムにして、カフェなどで隔月定期上映されている。その「てれれ」のプログラムを、スタッフやボランティアさんとともに見る会を開催した。

総計 6回 のべ参加者25名

### **【5】国際的な草の根の交流を行う事業**

今年度は実施せず。

### **【6】リサイクルバザー事業**

#### **A. ぽちぽちバザール**

毎年、7月に市内の団体に声をかけて、共同で行っているバザー。

日にち：7月11日(日) (主催：5団体の参加)

場 所：総合センター1階

売 上：24,240円 当日のボランティア6名

#### **B. エコフェスタフリーマーケット (エコの市) 開催への協力**

## 【2】組織と運営

### 【1】会 員

#### (1) 会員数＝会費納入者

2010年3月末現在

	個人会員	団体会員	注) 数字のカウントの仕方
09年度までの会員	164名	12名	→2009年度会費納入者数
10年度 加入者	35名	3名	→新規および復活者数
10年度 退会者	33名	5名	→退会および2010年未入者数
会 員 数	166名	10名	
総 会 員 数	176名		→2010年会費納入者数

#### (2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入 (一部会員のみ、会費より)

## 【2】組織活動 (敬称略)

#### (1) 定期総会

日 時 2010年5月23日 (日) 10:30～12:00

場 所 ぼちぼちはうす

- 議 題
- 1) 2009年度事業関係の審議・承認
  - 2) 2010年度法人事業報告および計画・予算計画の審議・承認
  - 3) 2010年度役員選出

出席者 105名 (委任状提出者87名、非会員1名を含む)

#### (2) 運営委員会

毎月第1月曜日 13:30～15:30

運営委員：黒田民子、上野谷加代子、田中哲次郎、別所訓子、中尾京子、  
西尾美津子、橋本義郎、森川加代、村井謙太、守本友美

主な議事 事業の企画と調整

### (3) 理事会

1. 日 時：2010年4月5日（月）15:00～16:00 3理事の参加  
議 題：①前年度の事業報告と今年度の事業計画について  
②人事異動について
2. 日 時：2010年5月10日（月）15:00～16:00 3理事、監事参加  
議 題：①法人の総会の報告と外部理事・監事さんたちからでた意見について
3. 日 時：2010年6月7日（月）15:00～16:00 3理事参加  
議 題：①年賀状助成金によるぼちぼちはうすの改装と増築について
4. 日 時：2010年9月6日（月）15:00～16:00 3理事、監事参加  
議 題：①職員の退職について
5. 日 時：2010年10月6日（月）15:00～16:00 3理事参加  
議 題：①居住サポート事業の開始について  
②ヘルパーステーションの不適切利用について  
③ぼちぼちはうすの利用者（重度障害者等包括支援事業）の増加について  
④ぼちぼちはうすの増改築の終了について
6. 日 時：2010年12月6日（月）15:00～16:00 3理事、監事参加  
議 題：①次年度の人事の方向性について
7. 日 時：2011年3月1日（月）15:00～16:00 3理事、監事参加  
議 題：①次年度の事業計画と人事について
8. 日 時：2011年2月1日（月）15:00～16:00 3理事、監事参加  
議 題：①次年度の事業計画と人事について

### (4) 理事総会（社員総会）

4/26 今年度より新たに参画いただいた外部理事、監事の方5名とスタッフにて、法人の社員総会の位置づけで開催。

外部理事：石井祐理子（光華女子大学）

室田 信一（NPO法人M-CAN）

安原 佳子（桃山学院大学）

川口 裕之（NPO法キッズポケット、てづくりほいく研究会）

外部監事：玉木 幸則（メインストリーム協会）

## (5) 職 員

2010年度の常勤職員。

村井謙太、冨田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、吉田智里、藤本祥平、大村静香、山田久美子、大島亜弓、山野仁美、野畑大幸  
(常勤ヘルパー) 三国洋子・近藤由美子(8月末退職)

## (5) スタッフ研修会

外部理事、監事の方に来ていただき、5回開催。

## 【3】広報活動・寄付を求める活動

### (1) 会誌「つなぐ」の発行 6回

\* B5版、手書き、10ページ 600部(隔月刊)

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行

### (2) ホームページの公開

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai>

### (3) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。

### (4) リサイクル・インクカートリッジ事業に取り組んでいる。

